

# 市民活動 だより VOL 27

2019 3 29号

発行:たはら市民活動支援センター(市役所企画課)

田原で市民活動に取り組む“ヒト”を紹介します!

## 渥美半島☆自然感察ガイド 藤江 昌代さん

『田原の屋久島』に魅せられて



高校を卒業後、就職したものの退職し、アルバイトの日々を送っていた藤江さん。ある時、ふと雑誌やテレビに映る屋久島が目にとまりました。思い立ったらすぐ行動!がモットーの藤江さんは、2002年5月、人生初めてのひとり旅で屋久島へ。往復の飛行機で窓から見えた屋久島にはなぜか涙が溢れ、言葉にならない感情を覚えました。その後、沖縄県の宮古島にリゾートバイトをしながら9ヶ月間住み、改めて気付かされたのが「私は自然が好きなんだ。自然に関わる仕事に就きたい!」という純粋な気持ちでした。すぐに田原に戻り、図書館で色々調べて迎っていたのは、自然の持つメッセージを自身の感性を媒介とし人に伝える「インタープリター」というもの。自然について基礎から勉強したいと思い、東京の自然環境系の専門学校に入学、勉強の面白さにのめり込みました。

卒業すると同時に縁あって屋久島に移住し、ネイチャーガイドをしながら10年近く暮らしました。しかし、ガイドで膝を痛めてしまい、手術し入院することに。ガイドができなくてここにいる意味はあるのかと悩み考えた結果、大好きな屋久島を離れふるさとの田原に帰ることに決めました。戻ってからは『屋久島ロス』が続いていましたが、ある山登りのイベントに参加した時、運命的な出会いを果たします。渥美半島で最も標高が高い山「大山」の麓に迎っていたときのこと、そこには屋久島のある場所にそっくりな森が広がっていたのです。それは、屋久島で唯一、車で通ることができる世界自然遺産地域の「西部林道」の森。「屋久島と繋がっている…」そう感じ、へこんでいた気持ちがウソのようにワクワクしてきました。それ以来、ここを『田原の屋久島』と名付け、多くの人にこの自然の魅力を伝えたいと2017年の春、『渥美半島☆自然感察ガイド』を立ち上げました。

### 私のやりたいこと



「自然を観るだけでなく、五感で感じてほしい」という思いから、自然感察ガイドと名付けた藤江さんは、考えていること、これからやりたいことがたくさんあると言います。後世に渥美半島の自然を残したい。何よりも、地元の方たちに、普段何気なく見ている渥美半島の自然のすばらしさを感じ、誇りに思ってもらいたい。そのためにできることとして、SNSなどを活用し自然の魅力を広く発信し、様々なツアーを企画、開催しています。

「まずは私が感動した『田原の屋久島』を感じてもらい、そこから渥美半島全体の自然の魅力を、少しでも“自然”に対して興味を持っていただけたら嬉しいです。」そうイキイキと話す藤江さんを、たはら市民活動支援センターは応援していきます。

渥美半島☆  
自然感察ガイド  
藤江 昌代

TEL ● 090-5576-9676(午前9時～午後7時) E-mail ● info@kansa-2.com  
公式ホームページ ● https://www.kansa-2.com/  
ブログ ● http://ameblo.jp/atsumi-tahara/  
インスタグラム ● @atsumikansa2guide ツイッター ● @atsumikansa2

## 平成31年度 市民協働関連補助金の事業募集が始まりました!!

田原市では、市民参画・協働のまちづくりの促進を目的として、市民のみなさんが実施する公益的な活動を支援するための補助金制度を設けています。ぜひご活用ください。

### 市民協働まちづくり事業補助金

健康福祉・環境保全・地域づくりなどの公益活動を行う市民活動団体さんを応援する制度です。市民感覚の柔軟な発想で、社会に役立つ活動を提案してみましょう!

#### 1 通常枠(補助対象経費10万円以上)

- 募集期間:
  - A. 一般事業:平成31年2月15日(金)～3月15日(金)必着
  - B. 市民活動団体交流事業:5月7日(火)～6月28日(金)必着
- 選考方法:書類審査・公開審査会
- 補助金額:上限20万円、補助率2分の1  
予算額:60万円  
※1団体あたり最大3回まで

NEW

#### 2 少額枠(補助対象経費10万円未満)

- 募集期間:平成31年2月15日(金)～平成32年1月31日(金)  
随時受付(予算額に達し次第終了)
- 選考方法:書類審査
- 補助金額:上限4万9千円、補助率2分の1  
予算額:15万円  
※1団体あたり最大3回まで

### 人材養成活動補助金

市民活動団体さんの活動に関連する講座等の受講費用を補助する「講座・研修枠」と、先進的な事例の視察・調査のための費用を補助する「先進事例視察枠」の2本柱の制度です。やる気・熱意のある方を応援します。



#### 1 講座・研修枠

- 募集期間:平成31年2月15日(金)～平成32年1月31日(金)  
随時受付(予算額に達し次第終了)
- 選考方法:書類審査
- 補助金額:上限3万円 予算額:9万円

#### 2 先進事例視察枠

- 募集期間:平成31年2月15日(金)～平成32年1月31日(金)  
随時受付(予算額に達し次第終了)
- 対象事業:「田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン」に定める具体的な事業
- 選考方法:書類審査・プレゼンテーション審査
- 補助金額:上限12万円 予算額:12万円

### 新規団体活動補助金

新たに仲間を募って立ち上がった市民活動団体さんを応援する制度です。

「市民活動を始めてみただけ、活動資金のやりくりが難しい…」とお困りの団体さん。ぜひご活用ください!



- 募集期間:平成31年2月15日(金)～3月15日(金)必着
- 応募要件:平成30年4月以降に設立した団体
- 選考方法:書類審査
- 補助金額:上限5万円、補助率10分の10  
予算額:10万円  
※1団体あたり1回限り

2次募集  
あり!!

### 市民活動チャレンジ支援補助金

40歳以下の若い世代の市民活動団体さんを応援する制度です。フレッシュさ溢れる斬新なアイデアで、仲間と一緒に楽しみながら市民活動をしてみませんか?

- 募集期間:平成31年2月15日(金)～平成32年1月31日(金)  
随時受付(予算額に達し次第終了)
- 応募要件:5人以上の青年層(おおむね18歳以上40歳以下)の市民で構成されている団体
- 選考方法:書類審査
- 補助金額:上限10万円、補助率2分の1  
予算額:20万円  
※1団体あたり1回限り

### センター スタッフからの ひとこと

我が家には、陽の当たる猫の額ほどの廊下があります。そこを開け切ると温室になるので、冬の間は観葉植物や寒さに弱い鉢植えなどを置いています。今期はプランターを3つ置いて、ルッコラとサラダほうれん草、花菜を植えました。寒い間はひよろひよろでしたが、暖かくなるにつれ収穫できるようになり、そろそろ植え替えです。次は何を植えようかとあれこれ考えながら楽しく眺めています。(M)

市民活動だより VOL 27 2019(平成31)年3月29日発行

【編集・発行】

田原市民活動支援センター  
開設場所等: ① 田原文化会館フリースペース(火曜日・土曜日/正午～午後4時)  
② 田原市役所企画課(平日/市役所業務時間内) ※ 祝日は除く

E mail shiminkatsudo@city tahara aichi.jp  
HP http://www.city tahara aichi.jp/kurashi/shiminkyodou/1001061/index.htm  
田原市役所 企画課(南庁舎3階) TEL 0531 23 3507 FAX 0531 23 0669  
E mail kyoudou@city tahara aichi.jp




第1回

# 「市民まちづくり講座」を開催しました!

「たはら市民活動支援センター」は、平成19年に田原文化会館内にオープンし、市民活動の活性化や活動団体相互の中間支援の役割を担ってきました。市民活動に関する相談受付や助言、情報収集や情報発信、市民や市民活動団体がつながり交流できるイベントや講座の企画など、幅広く事業に取り組んでいます。

そのうちのひとつとして、市民活動を担う人材育成を目的とし、平成30年11月27日に田原文化会館内フリースペースで、第1回「市民まちづくり講座」を開催しました。第1回目の開催となった今回は、テーマを「こんな まち がいいなあ」と題し、和やかな雰囲気のもと活発に意見交換が行われ、以下のフリートークのような様々な問題提起やこれからの取り組み方へのアイデアが発表されました。

今後も、このような講座を開催する際には、たはら市民活動支援センターホームページ等にてお知らせしますので、ぜひみなさんお気軽にご参加ください。



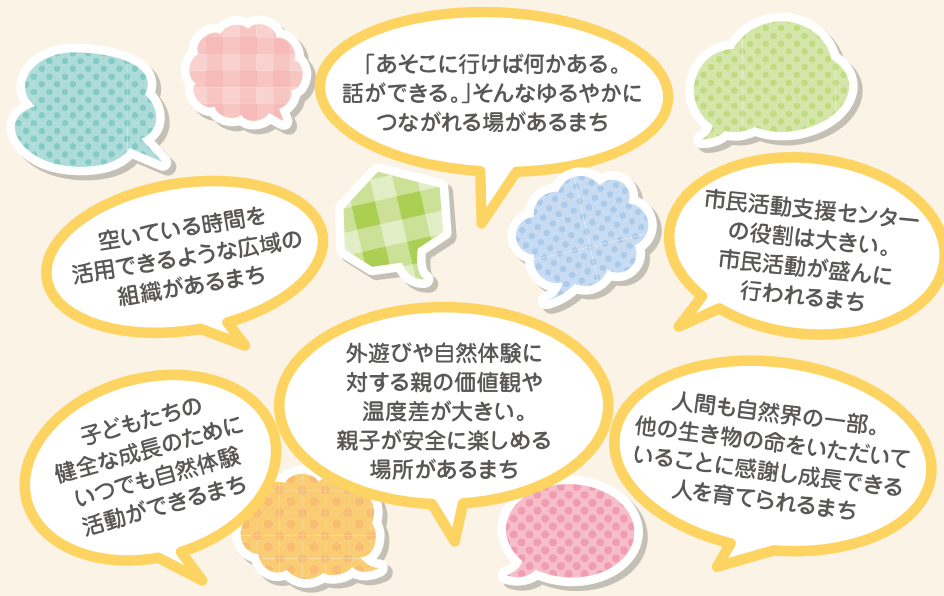
**安田好文さん**  
蔵王山を自然体験ポイントとし、何か市民活動ができないか模索中。



**松野弘美さん**  
南知多ビーチランドでのドルフィントレーナーの経験を活かした活動がしたい。



**大久保喜代司さん**  
国際薬膳食育師の資格を持ち、和漢膳料理の講座を開催している。



「あそこに行けば何かある。話ができる。」そんなゆるやかにつながれる場があるまち

空いている時間を活用できるような広域の組織があるまち

市民活動支援センターの役割は大きい。市民活動が盛んに行われるまち

外遊びや自然体験に対する親の価値観や温度差が大きい。親子が安全に楽しめる場所があるまち

子どもたちの健全な成長のためにいつでも自然体験活動ができるまち

人間も自然界の一部。他の生き物の命をいただいていることに感謝し成長できる人を育てられるまち

# 「第12回 しみんのひろば」が開催されました!

## ～想い♪つながる♪まちづくり～

平成30年8月26日(日)に田原文化会館において「第12回しみんのひろば」が開催されました。「しみんのひろば」は、市民活動団体が、日頃の活動を他団体や市民の方へPRし交流を深め、また市民活動に携わったことのない方に少しでも活動に興味を持ってもらうことを目的とし、市民主体で企画、開催するイベントです。

今回は、田原文化会館や中央図書館の協力の下、アトリウムとウッドデッキをステージにして様々な活動の発表を行いました。力強い太鼓の演奏を合図に、歌唱、マジック、楽器等の演奏や、子どもたちの元気いっぱいのダンスが発表されました。また、フリースペースやアトリエ等ではパネル展示や体験ブースを通じて交流が図られ、市民の皆さんに日頃の活動を大いに知って、体験してもらうことができました。



## 私たちも「しみんのひろば」を支えました!

### ◎しみんのひろば実行委員会

市民活動団体のメンバーによる実行委員会です。いつも「しみんのひろば」を応援しています。運営はもちろん、企画や準備においても、その力を存分に発揮しました。

### ◎たはらランティア

「地域社会に役立つ学校」を目指し結成された、田原中学校の有志の生徒によるボランティア活動組織です。6人の元気な男子生徒が参加し、当日は、資材の運搬や来場者の案内、ステージ発表の団体紹介など、のびのびと行ってきました。これからの市民活動を担う次世代の活動を見ることができました。



▲たはらランティアの皆さん

### ◎たはら市民活動応援隊

平成29年度・30年度に、田原市から委託を受けて「たはら市民活動支援センター」を運営し、市内の市民活動を応援する、その名も「たはら市民活動応援隊」です。当日は市民活動支援センター総合受付を担当し、問い合わせの対応と、スタンプラリーの配布や回収などを行いました。